

流域を超えた中川運河の治水機能の活用について提案。

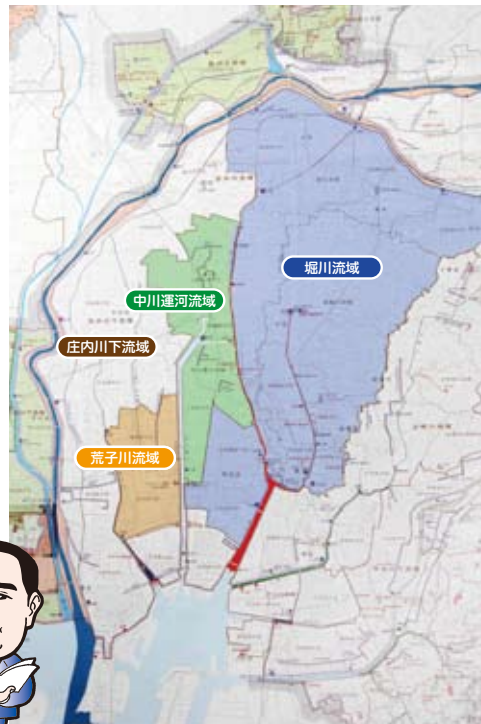
既存の河川流域にこだわることなく、中川運河を活用する必要があります。そのためにはまず、河口の中川口ポンプ所のポンプ能力の増強を実施すべきであると考えがいかがでしょうかと、副市長にお尋ねしました。

名古屋市からの答弁。

議員より河川等の流域にこだわることなく中川運河の治水機能を考えるべきとの大きなテーマをいただきました。

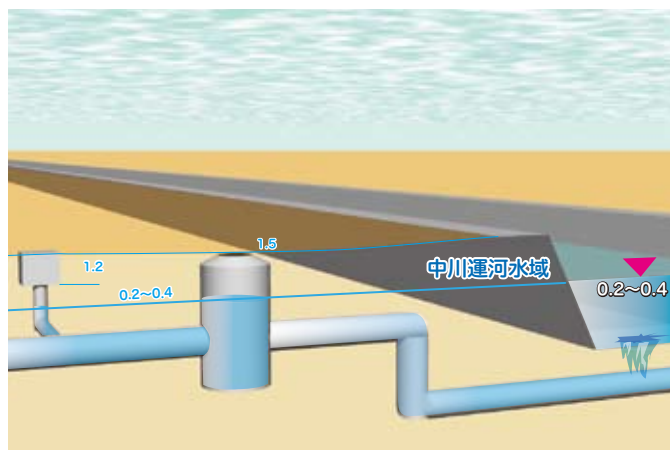
議員ご指摘のとおり、中川運河がもつ治水機能の潜在能力は大変大きなものがあると認識しております。

こういった認識をもって、河川等における流域の考え方や市域全体の治水機能における中川運河の役割につきまして、ポンプ増強も含め、関係局で十分議論を重ねてまいりたい。とのことでした。



河川下の横断下水管の耐震化について質問。

中川運河では4箇所下水道管が横断しており、そのうち3箇所の下水道管は、埋設後80年経過しています。コンクリートの標準耐用年数は50年と聞いていますが、腐食や老朽化した下水道管が地震により破損し、中川運河の水が侵入すると、中川運河の水位と下水道管の水位が同じになり、一部で家庭の下水排水が出来なくなるのではないのでしょうか。また、雨が降ればすぐに浸水する心配を訴えました。



名古屋市からの答弁。

下水道の耐震化対策につきましては、これまで順次計画的に進めてまいったところですが、今年度を初年度とする第7次下水道路調査改築計画におきましては、避難所などから水処理センターを結ぶ下水道、緊急輸送道路下や軌道下の下水道など重要な幹線等の耐震化を計画的に進めることとします。議員ご指摘の通り、河川下を横断する下水道については、損傷した場合に周辺へ及ぼす影響が懸念されることから、上下水道局として重要な幹線のひとつとして位置付けているところであり、計画的に耐震化に取り組んでまいりたいと考えております。とのことでした。



市民相談

法律相談

～あなたの気持ちになって考えます～
どんなご要望、ご相談もお寄せください。



市民相談 随時受付しております。
南区法律相談 要予約 ■毎週第1・第3木曜日（19時～21時福田事務所にて）
毎月第4金曜日は金山総合駅でも法律相談を行っています。お気軽にご相談ください。
法律相談日後でもお気軽にお電話下さい。